

## ■ 目標

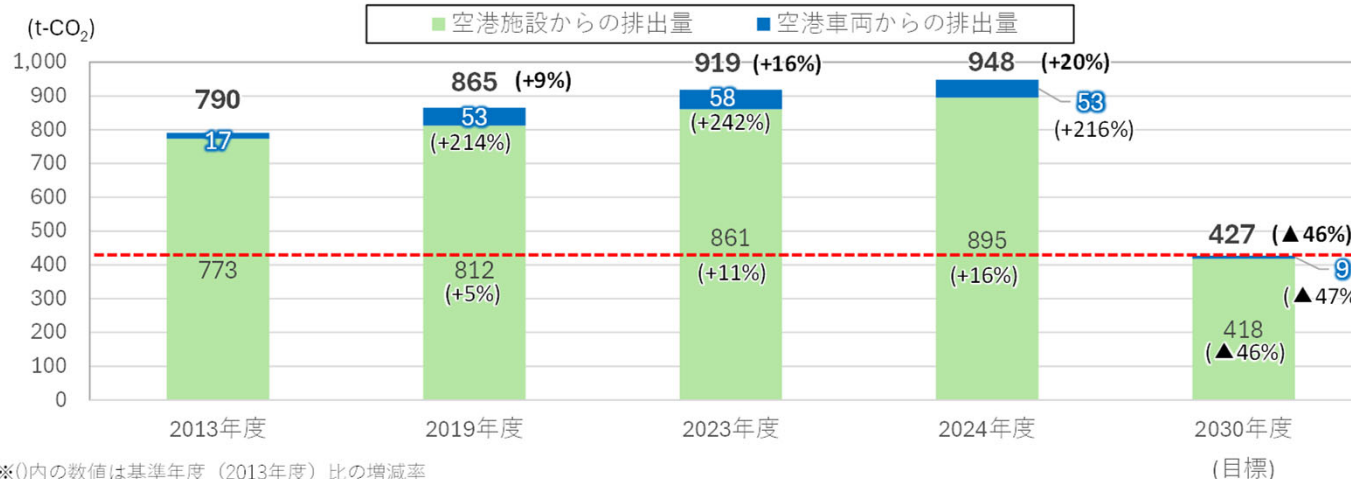
2030年度 CO<sub>2</sub>排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

## ■ 取組状況

- **空港の施設**：航空灯火LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定7t-CO<sub>2</sub>/年削減。(2013年度比0.9%相当)  
施設照明LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定75t-CO<sub>2</sub>/年削減。(2013年度比9.5%相当)
- **空港車両**：空港車両はHV車両2台導入により、CO<sub>2</sub>排出量は推定0.2t-CO<sub>2</sub>/年削減。(2013年度比0.02%相当)

区分	CO <sub>2</sub> 排出量【t-CO <sub>2</sub> /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	773	812	861	895	418
空港車両からの排出量	17	53	58	53	9
<b>計</b>	<b>790</b>	<b>865</b>	<b>919</b>	<b>948</b>	<b>427</b>



2030年度目標値

※百里空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告を元に作成

## ■ CO<sub>2</sub>排出量の増減理由

- 空港の施設、空港車両ともに増加傾向にある。施設照明LED化が一部進んだが、電力排出係数が増加したこと、暖房使用頻度が増加したことなどが影響したと考えられる。